

平成30年6月5日（火）

3年生が麻里府漁港と馬島に行きました

3年生は社会科の学習で、子どもたちのふるさとである田布施町について学習をしています。この日は、途中から小雨が降るあいにくの天気でしたが、本校の校区にある麻里府漁港と馬島を見学しました。

麻里府漁港では、本校の保護者でもある漁師さん達に、麻里府漁港に水揚げされる魚のことや、漁に使う船のことなどについて教えていただきました。

次に、渡船で馬島に渡り、元地域おこし協力隊の藤田さんに馬島の自然、そして魅力についてお話をしていただいた後に、馬島のビーチで磯遊びをしたり、要害山登山をしたりしました。初めて島に渡った児童も多く、「夏休みにもう1回連れてきてもらおう！」という声も聞かれるなど、ふるさとの魅力を発見する時間にもなりました。

◆ 麻里府漁港 ◆



魚をさわるときに気をつけることなどについて、教えてもらいました。



魚をとる網について、説明してもらいました。



最初はおそるおそる魚にふれていた子どもたちも、次第に大胆にさわられるようになりました。



麻里府漁港名産の「はも」

◆ 馬 島 ◆



渡船「ましま丸」で馬島に渡りました。
8分の船旅です。





きれいなビーチの前で、元地域おこし協力隊の藤田さんに、馬島にいる生き物や魅力について説明してもらったり、馬島の名前の由来や歴史について質問したりしました。



干潮時のビーチで生き物をさがしたり、きれいな石を拾ったり、藤田さんに教えてもらった砂浜に自生する植物をさがしたりしました。



雨があがった時を見計らって、要害山登山をしました。木々に覆われた25分間の山道では気がつきませんが、山頂に着いて再び降り出している雨に少しがっかりでした。晴れていれば絶景を見ることができたはずですが…

